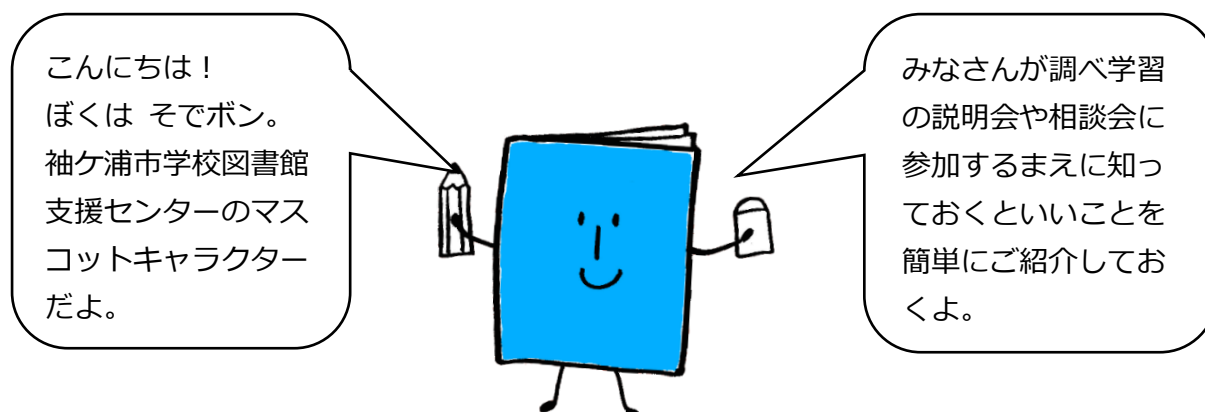


調べ学習のすすめ方＜初級編＞



●そもそも「調べ学習」ってどんなものなの？

「知りたいこと・興味を持っていることについて自分で調べ、その情報を元に考えたことや気づいたことをまとめ、発表する」学習です。

この一連のプロセスを何度も経験することで、その子が生涯にわたって自分でより良く生きていくための力を身につけていきます。近年では「探究学習」とも呼ばれています。

●「袖ヶ浦市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しています

袖ヶ浦市教育委員会では、市内小中学生を対象に「袖ヶ浦市図書館を使った調べる学習コンクール」を毎年開催しています。

これは、公益財団法人図書館振興財団が主催する「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールという位置づけであり、袖ヶ浦市のコンクールで上位に入賞した作品は全国審査に推薦されます。

※ 詳しくは図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/> をご覧ください。調べ学習についての基本情報が盛りだくさんです！

●主役は「子どもたち」

市内小中学校では、学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業作りに取り組んでおり、その成果としてのコンクール出品作品づくりが夏休みの宿題として出されることも多いようです。市教育委員会としても、ぜひたくさん子どもたちにチャレンジしてもらいたいと思いますが、まずは子どもたち自身が「知りたい！」「調べたい！」と思う気持ちが必要です。ぜひ楽しみながら取り組んでくれることを願っています。

そして、おうちの方や学校の先生方をはじめとする、子どもたちの学びを応援してくださる大人の方たちには、お子さんが楽しんで取り組めるよう、そしてお子さん自身が考えて進められるよう、伴走者としての役割をお願いできたらと思います。

●テーマ（課題）を見つけるにはどうしたらいいの？

調べたいことがたくさんあるお子さんは、その中で一番、自分や周りの人にとって大事だと思うことから調べてみるのもいいかもしれません。それから、他の人があまり調べなさそうなことに目を向けてみるのも面白いですね。

一方、「調べ学習にチャレンジしたいけど、調べたいことが見つからない」というお子さんもいるかもしれません。でも、課題はみなさんの中にきっと眠っているはずです。身の回りのほんの小さな疑問や困りごとでもいいのです。

「どうしてお味噌汁を飲むと幸せな気分になるんだろう？」

「じゃんけんが弱いお母さんを勝たせてあげたい！」

「ぼくの足はどうしてこんなにくさいのか？」

今までには、こんなテーマで調べた人もいました。お子さん自身がどれだけ「知りたい！」と思っているかがカギなのです。

●まずは下調べから

調べたいものが決まったら、まずはキーワードとなるものの下調べです。たとえば、「お味噌汁のことを調べたい！」と思ったら、キーワードとなる「味噌汁」についての基本情報を押さえる必要があります。

そのためにまず手に取るのが、百科事典や国語辞典です。これらは参考図書(レファレンスブック)と呼ばれる、調べものに使うための本で、図鑑や年鑑、年表、統計書、白書などもこれにあたります。これらがおうちにあるというご家庭もあるかと思いますが、ぜひ図書館へでかけて行って調べてください。図書館には参考図書のコーナーがあり、普段は目にしない本がたくさんあります。また、どの資料を見ればいいのかわからないときは、図書館司書にぜひ相談してください。司書は調べもののお手伝いをするもお仕事のひとつなのです。これをレファレンスサービスといいます。何を調べたいのか説明すれば、それについて書いてありそうな資料を探して集めてくれます。ぜひ利用してみてください。(※テーマの答えは教えてくれません)

お子さんが通う学校にも学校図書館(図書室)があります。そして学校司書もいます。お子さんにとって一番身近にいる司書ですから、調べものの相談ができることをぜひ教えてあげてください。

インターネット検索しても OK です。公共図書館にもインターネット検索用のパソコンがあります。ただ、インターネットは信頼性の低い情報も混ざっているので、そこを見極められるだけの力が必

要です。ですから、インターネットで得た情報も参考にしながら、それだけに頼らず、できるだけ本などの信頼性の高い資料で確認を取りましょう。

また、調べたい事柄ごとに必ず2つ以上の情報源で調べましょう。複数の情報源を比較することで情報の信頼性も上がります。

●ひとつ調べると知りたいことがまた生まれる

ひとつ調べ始めれば、知りたいことは芋づる式にどんどん生まれてきます。最初にテーマにしたことから離れすぎないように気をつけながら、お子さんの興味の赴くまま調べを進めていきましょう。疑問に対して自分なりの仮説を立てて、その証拠を探すつもりで調べを進めていくのもいいでしょう。

伴走する大人は、本などに書いてあった情報をお子さんが理解できるよう、わかりやすい言葉に置き換えて説明したり、質問して答えさせてみたりするなどしてサポートしてあげてください。

●知りたいことが書いてある資料が見つからなかったら

本やインターネット以外にも情報源になるものがいろいろあります。

- ・ 知っていそうな人にインタビューする
- ・ アンケートをとる
- ・ 実際に現地に行ってみる
- ・ 自分で実験や観察をする

なお、これらは必ずやらなければいけないことではありません。調べていく過程で、必要だと感じたときに、無理せずできる範囲でやってみてください。

どう？調べ学習のすすめ方がなんとなくイメージできたかな？

図書館には、調べ学習のすすめ方について書いてある本もあるから、探してみるのもいいね。



まずは図書館振興財団のホームページや募集要項などをよく読んでみてね！